

2. ごみ処理の実績

(1) ごみ排出区分の定義

本計画におけるごみに関する用語の定義は、図 3-2 に示すとおりとします。

本計画では、市民及び事業者等によって排出される全ての不要物の量を「ごみ発生量」とします。

しかし、潜在ごみである市民による自家処理（生ごみの減量化等）や事業者独自の資源回収・処理によって市で資源回収等がなされているもの等については、実数として捉えることが困難なことから、これを除いたものを「ごみ総排出量」とします。

「ごみ総排出量」のうち、本市の家庭から排出されたものを「生活系ごみ」、事業所や公共施設から排出されたごみを「事業系ごみ」とし、生活系ごみのうち資源ごみと集団回収で集められた資源を除いた処理・処分が必要な可燃ごみ・粗大ごみ及び有害ごみを「家庭系ごみ」とします。

なお、潜在ごみのうち民間事業者による資源回収については、聞き取り調査によって数値を確認しているものの、市民以外が持ち寄った資源が含まれている可能性もあるため、参考値としてリサイクル率の算出に用います。

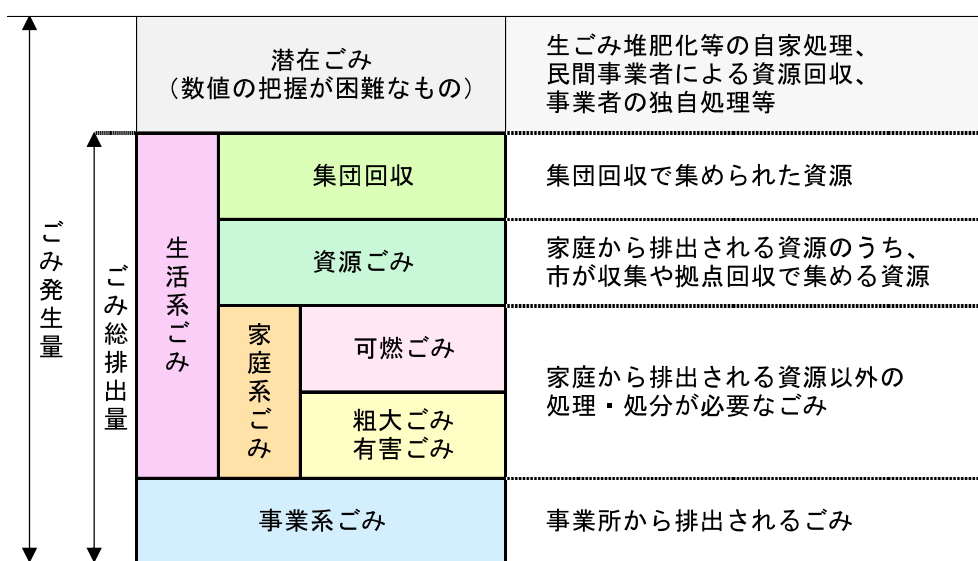


図 3-2 ごみ排出区分の定義

(2) ごみ総排出量・処理量の推移

本市における前計画期間（過去15年間）のごみ排出量、資源化量、中間処理量及び最終処分量の推移は、表3-7及び図3-3～図3-7に示すとおりです。

表3-7-1 ごみ排出量の実績

区分	単位	前期					中期		
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
		2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	
人口	人	51,271	51,634	52,083	52,453	52,822	53,271	53,599	
ごみ発生量	t/年	—	—	—	—	—	—	—	
ごみ総排出量	t/年	16,581.72	15,682.20	15,234.56	14,283.45	14,457.57	14,518.89	14,215.18	
生活系ごみ排出量	t/年	9,713.66	9,479.13	8,980.47	8,132.04	8,367.53	8,578.85	8,645.14	
収集ごみ	t/年	7,227.51	6,949.69	6,884.32	6,778.25	6,953.38	7,127.49	7,207.04	
可燃ごみ	t/年	6,411.98	6,259.72	6,274.43	6,212.83	6,387.60	6,587.60	6,621.00	
資源ごみ	t/年	815.53	689.97	609.89	565.42	565.78	539.89	586.04	
びん	t/年	272.68	236.71	220.97	213.49	205.68	193.39	186.64	
カン類	t/年	164.28	134.70	168.25	143.56	151.90	139.40	157.30	
金物類	t/年	126.45	84.53	—	—	—	—	—	
ペットボトル	t/年	188.37	171.46	153.75	145.73	152.30	146.90	158.40	
プラスチック製容器包装	t/年	63.75	62.57	66.92	62.64	55.90	60.20	83.70	
直接搬入ごみ	t/年	2,486.15	2,529.44	2,096.15	1,353.79	1,414.15	1,451.36	1,438.10	
可燃ごみ	t/年	148.30	160.02	139.44	180.37	198.10	170.60	167.40	
粗大ごみ	t/年	1,571.39	1,568.13	1,348.85	671.15	738.20	765.70	786.70	
資源ごみ	t/年	753.11	780.48	595.32	490.09	456.65	494.86	468.80	
古紙類	t/年	427.48	384.06	204.91	132.28	125.50	110.90	90.30	
衣類	t/年	76.33	83.42	65.35	25.28	28.80	24.60	19.30	
剪定木	t/年	249.30	313.00	325.06	332.53	302.35	350.09	340.78	
中央エコセンター	t/年	—	—	—	—	—	9.27	18.42	
ダンボール	t/年	—	—	—	—	—	2.65	4.32	
新聞	t/年	—	—	—	—	—	2.82	4.20	
雑誌	t/年	—	—	—	—	—	2.65	4.82	
牛乳パック	t/年	—	—	—	—	—	0.02	0.04	
古着	t/年	—	—	—	—	—	0.96	2.23	
びん	t/年	—	—	—	—	—	0.00	0.00	
缶	t/年	—	—	—	—	—	0.17	0.33	
小型家電	t/年	—	—	—	—	—	0.00	2.50	
有害ごみ	t/年	13.35	20.81	12.54	12.18	21.20	20.20	15.20	
事業系ごみ排出量	t/年	5,396.14	5,265.73	5,448.58	5,517.70	5,443.40	5,446.90	5,230.10	
可燃ごみ	t/年	5,396.14	5,265.73	5,448.58	5,517.70	5,443.40	5,446.90	5,230.10	
集団回収(資源回収)	t/年	1,471.92	937.34	805.51	633.71	646.64	493.14	339.95	
1人1日あたりごみ総排出量	g/人・日	886	832	799	746	750	747	725	
1人1日家庭系ごみ排出量	g/人・日	435	425	408	370	381	388	387	
中間・資源化処理	焼却量	t/年	12,470.95	12,259.07	12,417.51	12,098.01	12,296.90	12,505.50	12,304.50
	可燃ごみ	t/年	11,956.42	11,685.47	11,862.45	11,910.90	12,029.10	12,205.10	12,018.50
	粗大ごみ焼却量	t/年	514.53	573.60	555.06	187.11	267.80	300.40	286.00
	資源化量	t/年	4,443.91	3,694.23	3,248.79	2,729.79	2,741.32	2,501.39	2,268.37
	資源ごみ	t/年	1,568.64	1,470.45	1,205.21	1,055.51	1,022.43	1,034.75	1,054.84
	集団回収	t/年	1,471.92	937.34	805.51	633.71	646.64	493.14	339.95
	粗大ごみ資源化量	t/年	611.94	475.65	432.75	191.14	275.70	237.90	280.90
	焼却処理に伴う資源化量	t/年	791.41	810.79	805.32	849.43	796.56	735.60	592.69
	リサイクル率	%	26.8	23.6	21.3	19.1	19.0	17.2	16.0
	最終処分	最終処分量	t/年	464.37	442.15	425.98	420.61	429.20	436.08
焼却処理に伴う最終処分量		t/年	386.60	404.55	384.94	387.14	393.50	400.18	418.35
粗大ごみ最終処分量		t/年	77.77	37.60	41.04	33.47	35.70	35.90	37.20
最終処分率		%	2.8	2.8	2.8	2.9	3.0	3.0	3.2

表 3-7-2 ごみ排出量の実績

区分	単位	中期			後期			
		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
人口	人	53,909	54,191	54,735	55,016	55,242	55,508	55,977
ごみ発生量	t/年	—	—	16,150.85	16,411.41	17,158.45	17,216.90	16,996.05
ごみ総排出量	t/年	13,991.65	13,792.71	14,171.15	14,293.01	14,779.73	14,704.67	14,786.10
生活系ごみ排出量	t/年	8,457.11	8,281.25	8,632.65	8,699.31	9,198.27	8,889.27	8,861.20
収集ごみ	t/年	7,071.01	6,944.60	6,961.15	7,043.71	7,322.47	7,146.17	7,278.30
可燃ごみ	t/年	6,469.70	6,365.20	6,369.10	6,433.30	6,632.00	6,492.00	6,574.00
資源ごみ	t/年	601.31	579.40	592.05	610.41	690.47	654.17	704.30
びん	t/年	188.11	178.10	176.65	162.91	229.87	231.77	229.80
カン類	t/年	157.10	127.50	137.40	138.70	137.90	127.60	128.70
ペットボトル	t/年	149.60	166.00	175.10	176.70	178.60	135.10	188.50
プラスチック製容器包装	t/年	106.50	107.80	102.90	132.10	144.10	159.70	157.30
直接搬入ごみ	t/年	1,386.10	1,336.65	1,671.50	1,655.60	1,875.80	1,743.10	1,582.90
可燃ごみ	t/年	171.00	130.60	225.40	278.60	269.30	182.30	165.00
粗大ごみ	t/年	779.80	787.21	1,037.40	1,037.20	1,207.80	1,168.50	1,054.60
資源ごみ	t/年	420.30	392.24	390.80	321.40	379.50	374.20	344.40
古紙類	t/年	90.10	80.80	80.40	75.40	92.90	79.70	67.80
衣類	t/年	17.40	16.60	17.00	18.20	43.10	27.30	21.40
剪定木	t/年	296.92	281.29	277.30	192.00	205.00	221.20	210.10
中央エコセンター	t/年	15.88	13.55	16.10	35.80	38.50	46.00	45.10
ダンボール	t/年	4.42	2.86	2.80	17.50	21.10	26.10	26.00
新聞	t/年	5.48	3.55	3.10	4.00	3.80	4.70	3.20
雑誌	t/年	3.55	3.05	3.20	3.60	4.50	4.80	4.40
牛乳パック	t/年	0.10	0.04	0.00	0.00	0.20	0.30	0.30
古着	t/年	1.48	1.29	1.20	1.40	3.10	2.50	1.70
びん	t/年	0.00	1.23	2.30	3.40	4.70	6.40	8.00
缶	t/年	0.25	0.45	0.60	0.80	1.10	1.20	1.50
小型家電	t/年	0.61	1.09	2.90	5.10	—	—	—
有害ごみ	t/年	15.00	26.60	17.90	18.40	19.20	18.10	18.90
事業系ごみ排出量	t/年	5,234.40	5,246.80	5,289.50	5,331.90	5,124.10	5,136.20	5,099.10
可燃ごみ	t/年	5,234.40	5,246.80	5,289.50	5,331.90	5,124.10	5,136.20	5,099.10
集団回収(資源回収)	t/年	300.14	264.67	249.00	261.80	457.36	679.20	825.80
民間の無人回収所などの古紙等の回収量	t/年	—	—	1,979.70	2,118.40	2,378.72	2,512.23	2,209.95
1人1日あたりごみ発生量	g/人・日	—	—	808	815	851	850	832
1人1日あたりごみ総排出量	g/人・日	711	697	709	710	733	726	724
1人1日家庭系ごみ排出量	g/人・日	378	370	383	386	403	388	382
焼却量	t/年	12,169.80	12,035.50	12,231.10	12,444.90	12,589.20	12,364.00	12,324.40
可燃ごみ	t/年	11,875.10	11,742.60	11,884.00	12,043.80	12,025.40	11,810.50	11,838.10
粗大ごみ焼却量	t/年	294.70	292.90	347.10	401.10	563.80	553.50	486.30
資源化量	t/年	2,148.08	2,354.41	2,745.52	2,435.92	2,895.42	2,802.51	2,964.47
資源ごみ	t/年	1,021.61	971.64	982.85	931.81	1,069.97	1,028.37	1,048.70
集団回収	t/年	300.14	264.67	249.00	261.80	457.36	679.20	825.80
粗大ごみ資源化量	t/年	251.70	265.91	333.70	276.00	324.20	317.20	279.60
粗大ごみ委託処理量	t/年	—	—	173.80	192.50	108.20	58.60	66.80
有害ごみ	t/年	—	—	17.90	18.40	19.20	18.10	18.90
焼却処理に伴う資源化量	t/年	574.63	852.20	988.27	755.41	916.49	701.04	724.67
リサイクル率	%	15.4	17.1	19.4	17.0	19.6	19.1	20.1
民間回収を含む資源化量	t/年	—	—	4,725.22	4,554.32	5,274.14	5,314.74	5,174.42
民間回収量	t/年	—	—	1,979.70	2,118.40	2,378.72	2,512.23	2,209.95
リサイクル率(民間回収含む)	%	—	—	29.3	27.8	30.7	30.9	30.4
最終処分量	t/年	524.49	423.44	449.93	464.86	482.74	584.29	517.85
焼却処理に伴う最終処分量	t/年	486.79	385.14	398.73	415.66	415.44	492.09	435.05
粗大ごみ最終処分量	t/年	37.70	38.30	51.20	49.20	67.30	92.20	82.80
最終処分率	%	3.7	3.1	3.2	3.3	3.3	4.0	3.5

① ごみ総排出量

本市における過去 15 年間のごみ総排出量の状況は、図 3-3 及び図 3-4 に示すとおりであり、ごみ総排出量は 15 年間で減少しています。

発生原単位を見ると、「1 人 1 日あたりごみ総排出量」は平成 29（2017）年度まで、「1 人 1 日家庭系ごみ排出量」は平成 24 年度までは概ね減少傾向を示し、それ以降は変動しながらも、概ね横ばいの状態で推移しています。

しかし、令和 2（2020）年度からの新型コロナウイルス感染症の発生によって家庭で過ごす時間が増えたことから、家庭系ごみが一時的に増加しました。

また、集団回収の実施件数が令和 2（2020）年度より増加し始めたことも重なり、「1 人 1 日あたりごみ総排出量」は、後期計画の基準年度（平成 29 年度）を超える水準で推移しています。

一方で、ごみ排出量の約 4 割を占める事業系ごみは令和 2（2020）年度に減少し、以降は横ばいで推移しています。



図 3-3 ごみ排出量の実績

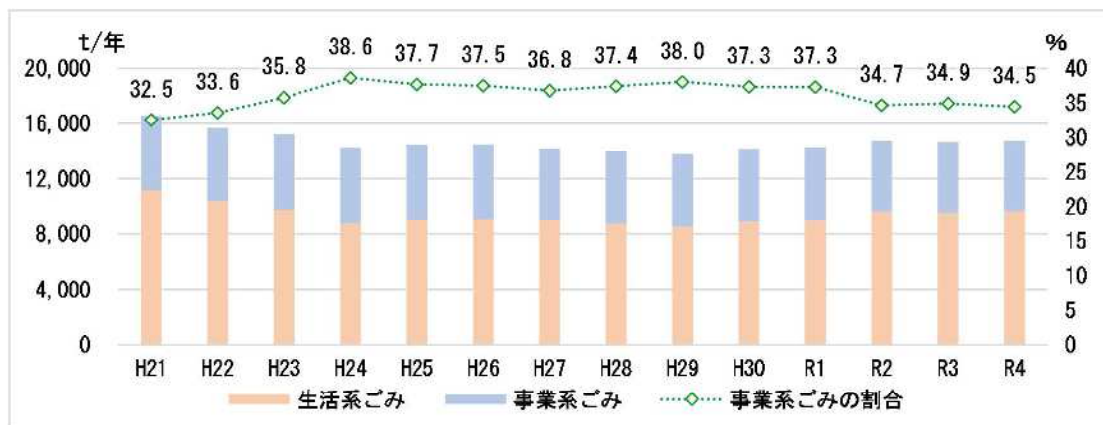


図 3-4 事業系ごみ排出量の実績

② 資源化量・リサイクル率

本市における過去 15 年間の資源化量・リサイクル率の状況は、図 3-5 に示すとおり、平成 28 (2016) 年度までは減少していましたが、現在は回復傾向にあります。

これは、令和 2 (2020) 年度より集団回収量が増加したことが主な要因です。

また、近年増加しつつある民間の無人回収所からの回収量を含めた場合のリサイクル率は、30%を超えています。

民間の無人回収所の回収量を合計した資源化量は、平成 21 年度の資源化量の数値を上回っています。これは、市民が新聞・雑誌・ダンボールなどの古紙等を排出する場所が、排出できる日時が限定されている市の回収場所から、いつでも排出可能な無人回収所に変化していったためであると考えられます。

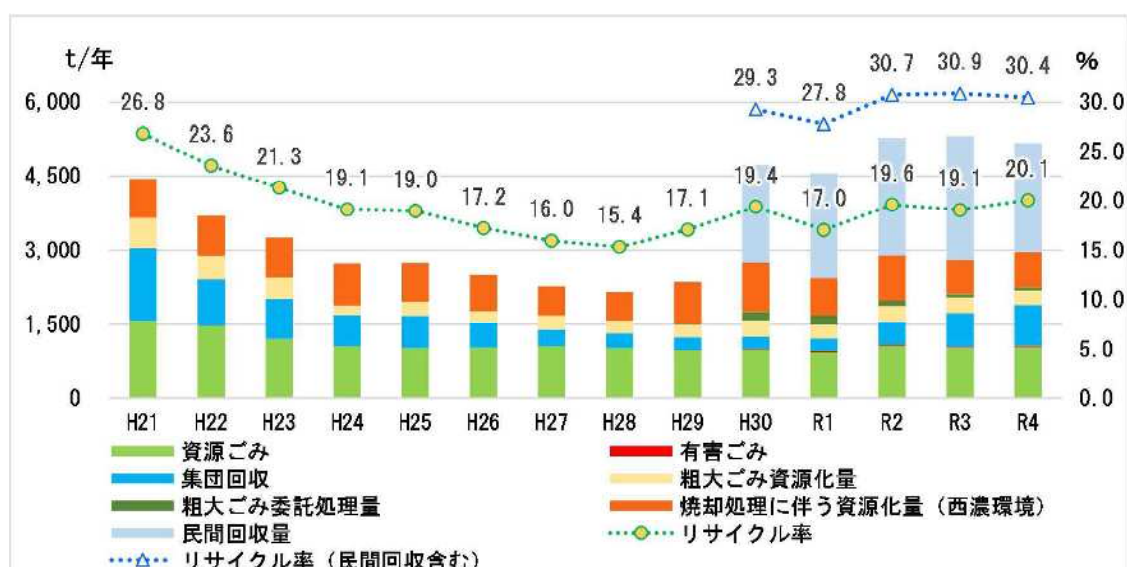


図 3-5 資源化量・リサイクル率の実績

③ 中間処理量（焼却処理量）

本市における過去 15 年間の組合での中間処理量（焼却処理量）の状況は、図 3-6 に示すとおり、概ね横ばいで推移しています。

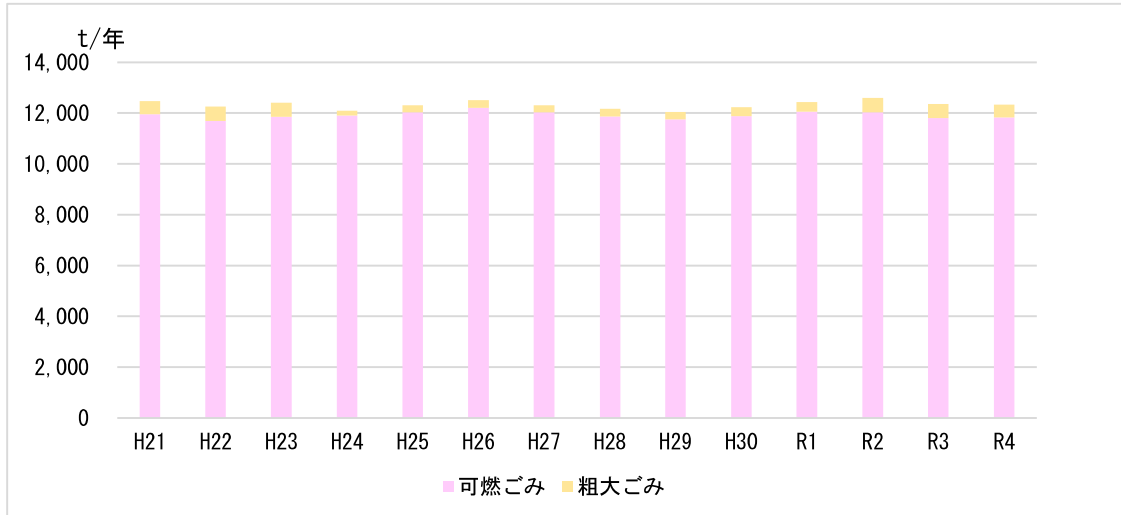


図 3-6 中間処理量（焼却処理量）の実績

④ 最終処分量・最終処分率

本市における過去 15 年間の最終処分量・最終処分率の状況は、図 3-7 に示すとおり、微増しています。

平成 28（2016）年度及び令和 3（2021）年度は、焼却処理に伴う最終処分量が増加し、また、令和 3（2021）年度は粗大ごみ最終処分量も増加したことから、一時的な増加がみられました。



図 3-7 最終処分量・最終処分率の実績

(3) 可燃ごみ組成調査結果

家庭から排出される可燃ごみ（家庭系可燃ごみ）について、その組成を分析し、ごみ組成や分析状況及び資源化が可能な資源の混入状況を把握するため、令和元（2019）年1月から、可燃ごみの組成調査を実施してきました。

令和元（2019）年度から令和4（2022）年度までの各地区及び市全体の組成調査結果は図3-8に、令和4（2022）年度の市全体の詳細な調査結果は図3-9に示します。

年度によって変動はありますが、可燃ごみに含まれる資源は2割を超えることが多く、またその資源の内訳は、プラスチック製容器包装と雑がみが多い傾向にあります。

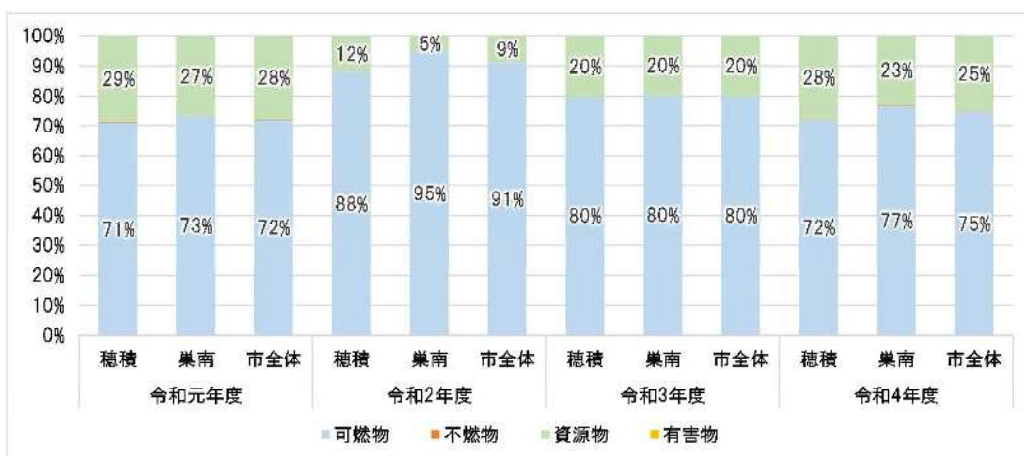


図3-8 可燃ごみ組成分析調査結果（令和元（2019）年度～令和4（2022）年度）

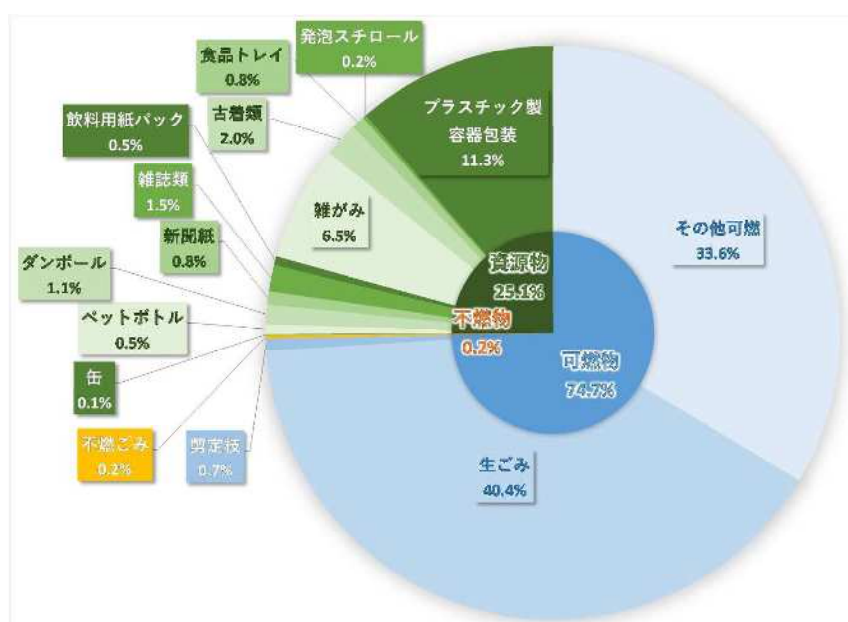


図3-9 可燃ごみ組成分析調査（令和4（2022）年度）

(4) ごみ処理経費の実績

本市のごみ処理経費について一般廃棄物処理実態調査より抽出しました。

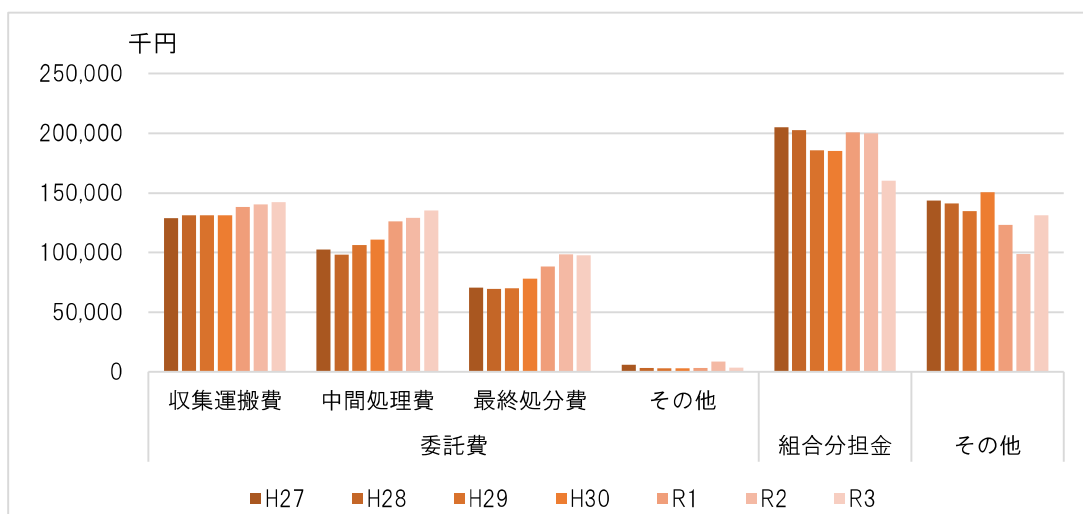
経費の中で最も高額な組合分担金が減少傾向にあるものの、委託費が業者の価格改定によって上昇傾向にあります。

組合分担金を除いたごみ処理経費は、令和3(2021)年度には5億円を超過しています。

表 3-8 ごみ処理経費の推移

単位：千円

		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
委託費	収集運搬費	128,921	131,442	131,479	131,386	138,420	140,398	142,401
	中間処理費	102,620	98,154	106,065	110,728	126,428	129,150	135,433
	最終処分費	70,533	69,615	70,134	78,055	88,139	98,414	97,575
	その他	5,905	3,396	3,123	3,246	3,415	8,839	3,702
組合分担金		204,918	202,724	185,715	185,419	200,659	199,866	160,414
その他		143,907	141,196	134,849	150,669	122,982	98,673	131,614
合計		656,804	646,527	631,365	659,503	680,043	675,340	671,139
分担金除く		451,886	443,803	445,650	474,084	479,384	475,474	510,725



出典：環境省一般廃棄物実態調査

図 3-10 ごみ処理経費の推移

(5) ごみ処理の評価（組合構成市町平均値との比較）

本市のごみ処理の状況を、表 3-9 に示す 5 つの項目について一般廃棄物処理実態調査※3 より抽出し、組合構成市町の平均値と比較・評価しました。

図 3-11 は、令和 3（2021）年度における組合構成市町平均値を 100 とした時の本市の評価値の比率を表しており、100 よりも大きな値であると高評価になることから、レーダーチャートの五角形の面積が大きいほど、ごみ処理が優れていることを表します。

本市の評価値は全ての項目において、組合構成市町の平均よりも良好な評価となっています。

表 3-9 5 つの評価項目及び評価値（令和 3（2021）年度実績）

	単位	瑞穂市※4	構成市町平均	評価値
1人1日あたりごみ総排出量	g/人・日	707	812	112.9
1人1日あたり家庭系ごみ排出量	g/人・日	377	483	121.9
リサイクル率	%	16.2	15.5	104.5
最終処分率	%	4.0	4.7	114.9
1人あたりごみ処理費用	円/人・年	10,860	12,567	113.6

出典：環境省一般廃棄物実態調査

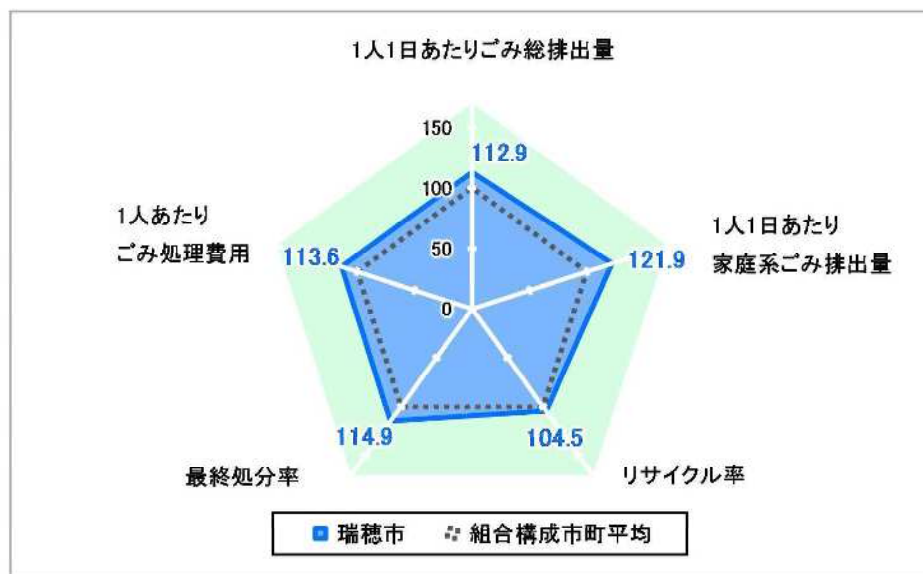
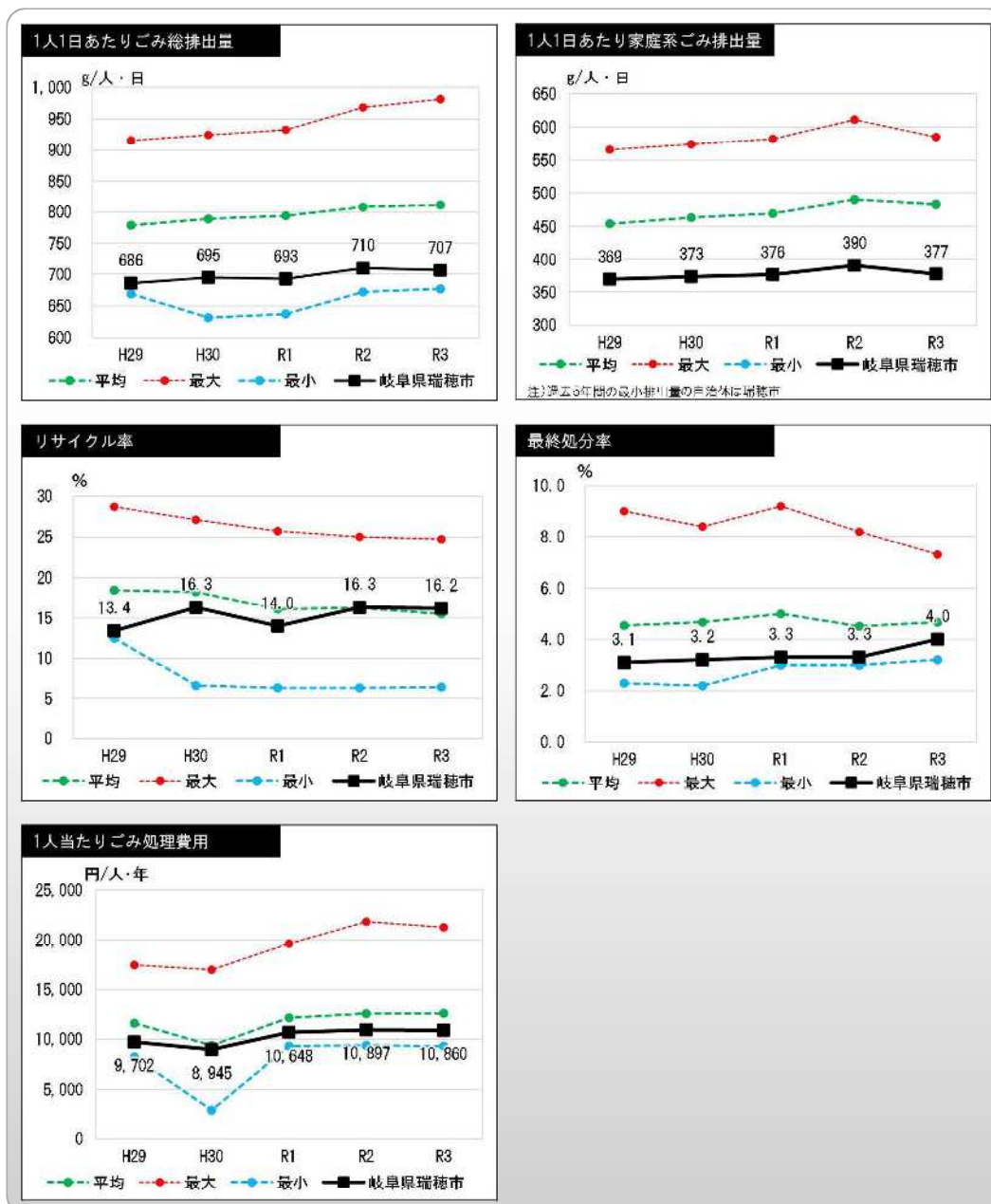


図 3-11 本市のごみ処理の評価（組合構成市町平均値との比較）

※4 自治体が把握している実績と異なる場合があります。

図 3-12 は、過去 5 年間における組合構成市町と本市のごみ処理の推移であり、「リサイクル率」は数字が高いほど良い状態、それ以外の項目は数値が低いほど良いと言えます。

本市のリサイクル率は上昇傾向であり、令和 2（2020）年度からは平均を超えています。また、その他の項目は全ての年度において平均以下であり、組合構成市町の中では良好なごみの処理が行われていると言えます。



出典：環境省一般廃棄物実態調査

図 3-12 本市と組合構成市町のごみ処理の推移

3. アンケート調査結果

一般廃棄物処理基本計画改定にあたり、住民満足度を把握するとともに、ごみ出しの状況やごみに対する考えを把握し、計画策定の資料とすることを目的にアンケート調査を行いました。

(1) 調査の概要

調査の概要は、表 3-10 に示すとおりです。

表 3-10 アンケート調査の概要

項目	内容
調査対象	瑞穂市民：1,001名 〔 廃棄物減量等推進員：102名 住民基本台帳から無作為に抽出した 20 歳以上：899名 〕
調査方法	郵送による送付・回収、無記名式
実施期間	令和 5 (2023) 年 6 月 30 日 (送付日) ～7 月 21 日 (回収期限)
回収状況	回収数：427 通 (推進員 76 通、一般市民 351 通) 回収率：42.7% 標本誤差 ^{※5} ：4.8%

(2) 調査結果 (抜粋)

後述するごみ処理の課題に関するアンケート結果を、以下に抜粋します。

再使用の取り組み (リユース) として、普段の生活で実践していることをお教え下さい (複数回答可)。

詰め替え商品の購入及びその容器をくり返し使用する取り組みについては、多くの方が実践されていました。

その他の回答は多くても 2 割程度と低めのため、啓発が必要です。

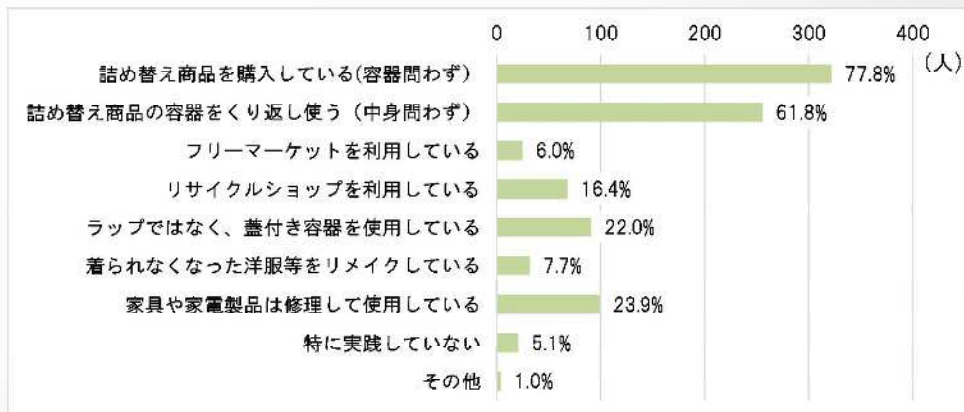


図 3-13 普段の生活で実践している再使用の取り組み

※5 標本誤差とは、アンケート結果の正確さを表す数値。
本調査は国が実施している調査の目安である「誤差率 5%以下」を下回る、良好な結果でした。

資源化の取り組み（リサイクル）として、普段の生活で実践していることをお教え下さい（複数回答可）。

市のルールに従った分別以外にも、店頭や民間の無人回収所を利用されている方や、家電買い替えの際に引き取りを依頼している方が6割程度おります。

一方で、4人に1人が金属を無料回収業者に出していると回答しており、適切な処理方法を啓発していく必要があります。



図 3-14 普段の生活で実践している資源化の取り組み

プラスチック製容器包装はどこへ出していますか？（複数回答可）

ご回答頂いた方の9割以上がリサイクルを実施しており、その内6割以上の方がごみステーションに排出しています。

また、4人に1人が可燃ごみで捨てていると回答されていましたが、収集回数が少ない穂積地区にお住まいの方や、集合住宅にお住まいの方が、可燃ごみで捨てる割合が比較的高い傾向にありました。

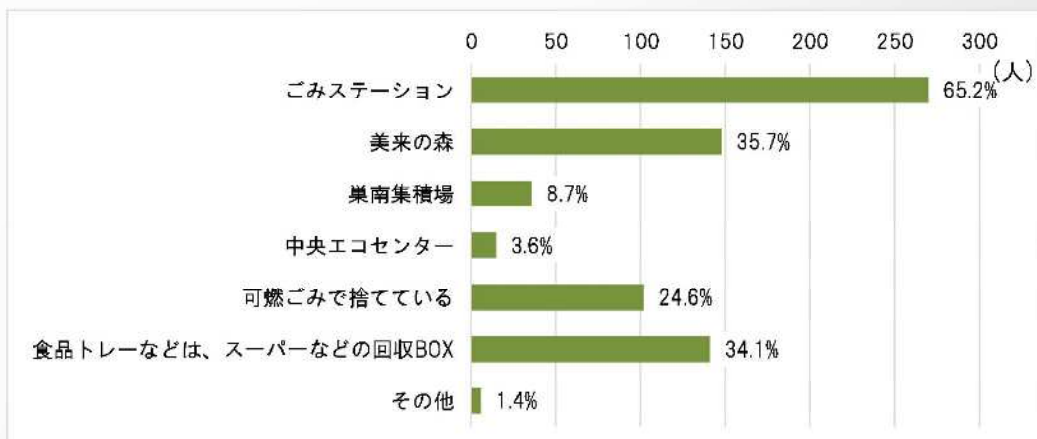


図 3-15 プラスチック製容器包装の排出先

プラスチック製容器包装を可燃ごみで捨てる理由についてお教えてください（複数回答可）。

プラスチック製容器包装を可燃ごみで捨てている方の3人に1人が、汚れを落とすことが手間であると回答しており、また、4人に1人が、収集頻度が少なく、保管しておけないためと回答していました。

また、その他の回答の過半数が、洗っても汚れが落ちない場合や、においが気になるためと回答しており、やむを得ずに捨てている方も多いことが確認できました。

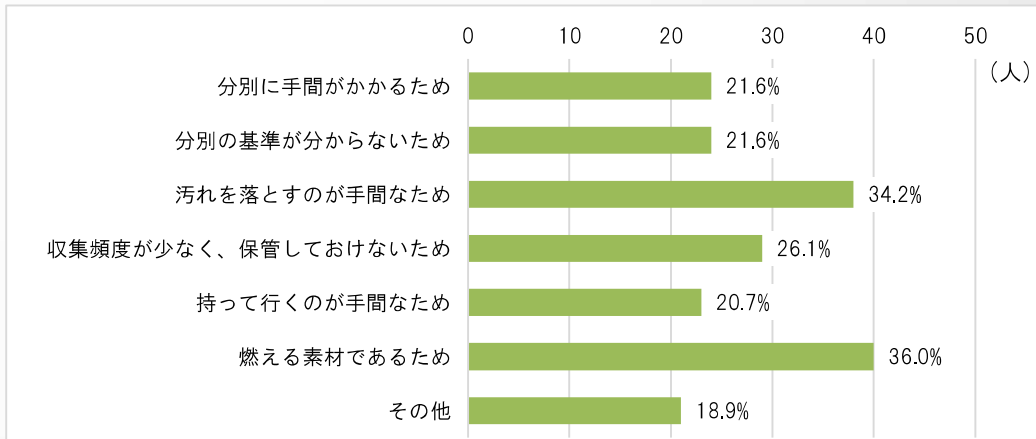


図 3-16 プラスチック製容器包装を可燃ごみで捨てる理由

瑞穂市の可燃ごみの中の4割程が生ごみであり、その中には、「食品ロス」が3割程度含まれていると予測されています。

食品ロスを減らす取り組みについて、普段の生活で実践していることをお教えてください（複数回答可）。

家庭でできる内容については、実践されている割合が高いことが確認できました。

「てまえどり」を始めとする、外出時にできる取り組みについては、啓発による効果を見込むことができるのではないかと考えられます。



図 3-17 普段の生活で実践している食品ロス削減の取り組み

「粗大ごみの出し方で困った」ことがある方に質問です。困った時にはどのようにしていますか？（複数回答可）

ご回答頂いた方の4割程が環境課に問い合わせしており、また、美来の森や巣南集積場の職員の方に聞くと回答されていた方も8人みえました。

家に放置すると回答されていた方の中には、持ち込みしたくても時間が合わないという方も確認できました。

また、戸別回収を依頼される方は戸建住宅にお住まいの方が多く、集合住宅にお住まいの方は、家に放置する割合が高い傾向にあります。

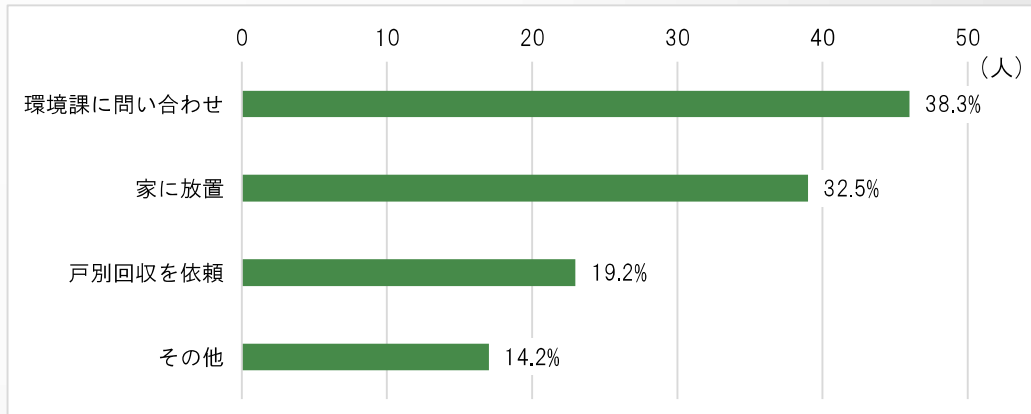


図 3-18 ごみの出し方で困った内容

「空き容器回収機の設置場所について、どのように感じますか？

現在の空き容器回収機周辺の地域別で確認すると、中ふれあい広場周辺及び稲里地区は、8割の方がスーパー・ドラックストアなどにも設置して欲しいと回答されていました。

また、台数を増やしてほしいという意見や、公民館等の場所にも設置を希望する意見もありました。



図 3-19 空き容器回収機周辺地域

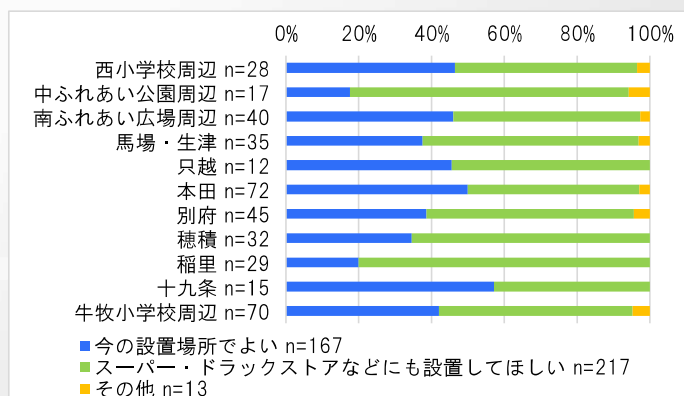


図 3-20 空き容器回収機の設置場所について

(3) 住民満足度

『市町村における循環型社会づくりに向けた一般廃棄物処理システムの指針』に示されている調査項目についてアンケート調査を実施し、住民満足度指数を算出しました。

調査の結果、住民満足度は「3.9」となり平均点3点を大きく上回る良好な結果となりましたが、情報公開に関する認知度（67.8%）は低いことから、市民にとってより一層わかりやすい情報の提供方法を検討する必要があります。

表 3-11 住民満足度アンケート調査項目

項目	設 問
取組	瑞穂市の「ごみ減量・再利用・リサイクル」(3R)への取組に満足していますか？
情報公開	ごみ処理や3Rの情報公開や提供に満足していますか？
収集	ごみの収集(収集回数や分別区分など)に関して満足していますか？
清潔さ	瑞穂市の街の清潔さに満足していますか？

表 3-12 住民満足度算出結果

項目	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	総回答数	有効回答数	得点	平均点
取組	89	151	43	12	105	400	295	1,147	3.9
情報公開	58	137	60	17	129	401	272	975	3.6
収集	172	140	51	17	27	407	380	1,539	4.1
清潔さ	89	221	47	12	38	407	369	1,435	3.9
総合評価									3.9

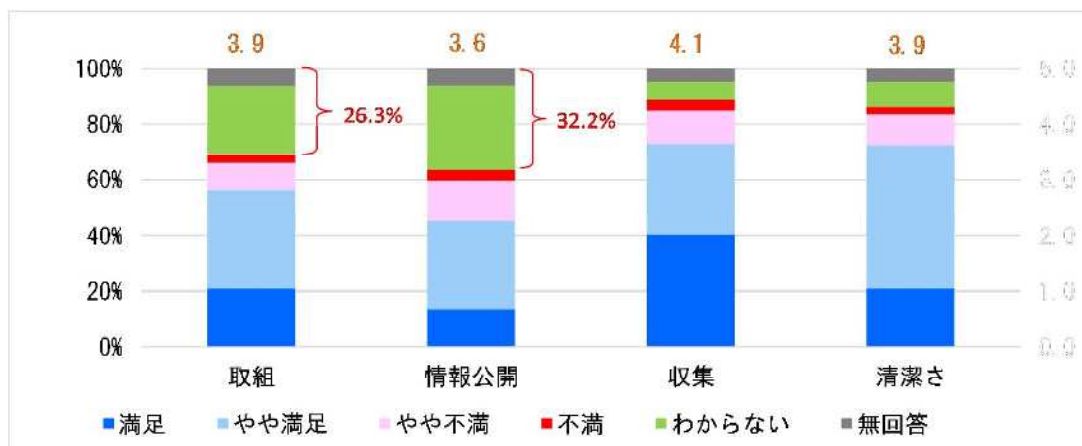


図 3-21 住民満足度調査結果

4. ごみ処理の課題

ごみ処理の現状や国の方向性から抽出した課題と、今後の瑞穂市が歩むべきごみ行政の方向性は、図 3-22 に示すとおりです。

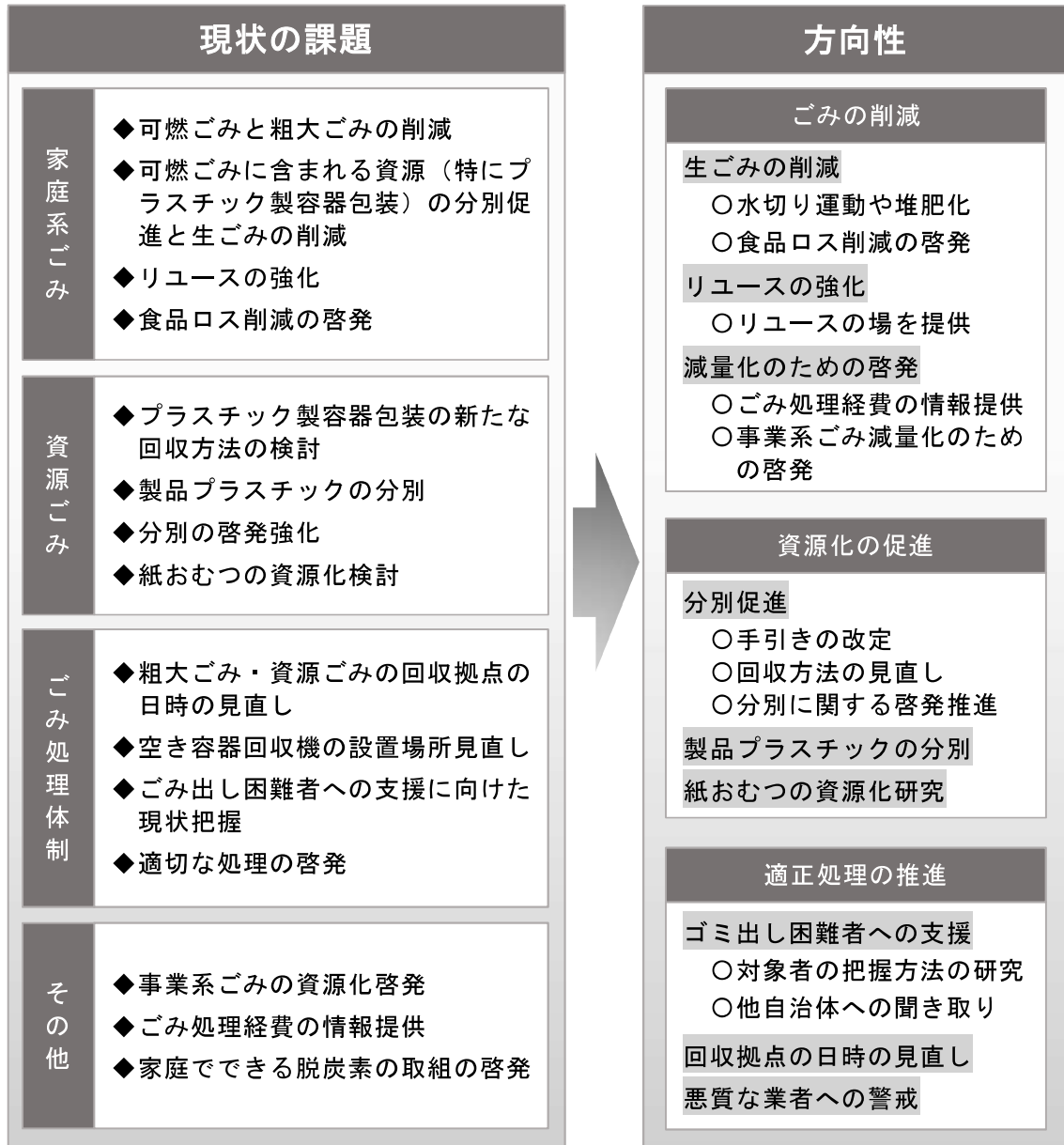


図 3-22 ごみ処理の課題と方向性

第2章 ごみ処理計画

1. 基本的方針

廃棄物処理の分野において目指すべき姿は、「脱炭素社会・循環経済の実現」です。

わが国においては持続可能な社会経済システムを実現するために、令和2（2020）年のパリ協定より「2050年カーボンニュートラル」に向けた脱炭素化の推進を、また、令和3（2021）年10月の地球温暖化対策計画改定より、3R+Renewable^{※6}をはじめとする循環経済への移行を進めてきました。

本市においても、未来の瑞穂市やそこに住む私たち子どもたちに良好な生活環境を引き継ぐためには、更なる「脱炭素社会・循環経済」のための取組が必要であり、市民・事業者・行政の3者が協力・連携して実現していくことが求められています。

そのため、以下の廃棄物処理の優先順位を心がけ、環境への負荷が出来る限り低減される「脱炭素社会・循環経済」の構築を目指していくものとします。

【廃棄物処理の優先順位】

- 1：できる限り廃棄物を出さない(発生抑制:Reduce)
- 2：同じ形状のまま再利用する(再利用:Reuse)
- 3：物質として再資源化し、再生品を優先利用する(再生利用:Material Recycle)
CO₂を回収・貯留し、利用する(炭素回収・利用)
- 4：エネルギーを回収して利用する(熱回収:Thermal Recycle)
- 5：やむを得ず排出される廃棄物は適正に処理する(適正処理)

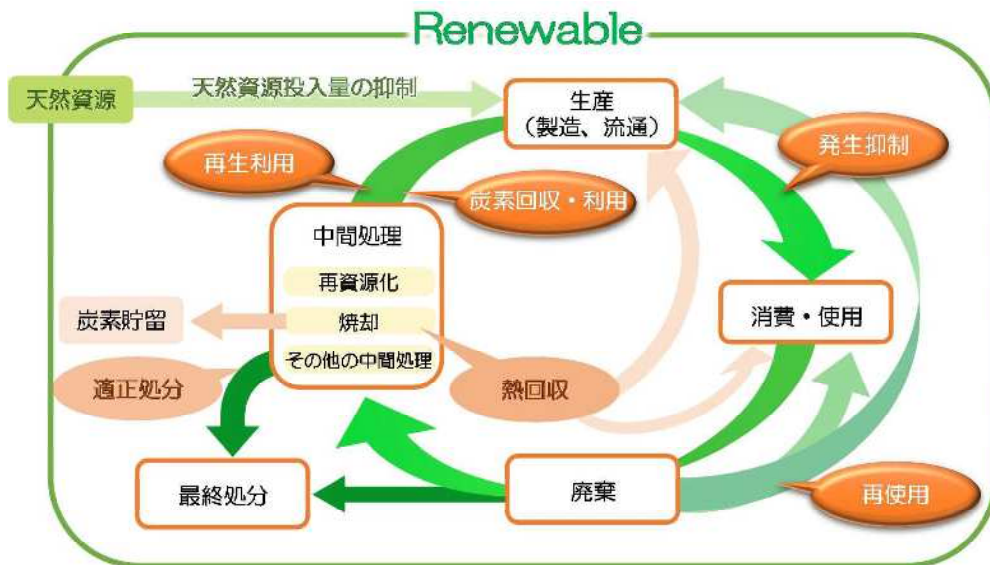


図 4-1 循環経済実現時の資源の有効活用の取組

※6 限りある資源を守る「3R」の徹底と、再生可能資源への代替を図る取組

2. 数値目標

本計画の数値目標は、前計画と同じく「1人1日あたりごみ総排出量」、「1人1日家庭系ごみ排出量」、「リサイクル率」及び「事業系ごみ排出量」の4項目とします。

(1) 1人1日あたりごみ総排出量

令和4(2022)年度における1人1日あたりごみ総排出量は724g/人・日であり、国の目標である850g/人・日は満足していますが、前計画基準年度の平成29(2017)年度実績697g/人・日より増加している状況です。また、本市では、循環型社会形成のための取り組みを進めていくことから、更なるごみの減量が求められています。

そこで、本計画では緩やかな削減を目指し、令和20(2038)年度の目標値を666g/人・日として定めます。

1人1日あたりごみ総排出量は、令和4年度実績724gと比べ、
令和10年度において3%削減した**702g**、
令和20年度において8%削減した**666g**とします。

(2) 1人1日家庭系ごみ排出量

令和4(2022)年度における1人1日家庭系ごみ排出量は382g/人・日であり、国の目標である440g/人・日を満足していますが、前計画基準年度の平成29(2017)年度実績370g/人・日より増加している状況です。

1人1日あたりごみ総排出量と同じく、更なる減量が求められていることから、可能な限り削減することとし、令和20(2038)年度の目標値を351g/人・日として定めます。

1人1日家庭系ごみ排出量は、令和4年度実績382gと比べ、
令和10年度において3%削減した**370g**、
令和20年度において8%削減した**351g**とします。

(3) 事業系ごみ排出量

事業系ごみは過去 5 年間で減少していますが、コロナ禍という特殊な状況で経済活動縮小による影響が大きいと考えられます。

今後はコロナ禍の影響が薄れてくると考えられるため、資源化の啓発や、市民に対する飲食店での食品ロス削減の啓発を進めていくことで、ゆるやかな削減を目指していくこととします。

事業系ごみ排出量は、令和 4 年度実績 5,099 t と比べ、
令和 10 年度において 150 t 削減した **4,949 t**、
令和 20 年度において 511 t 削減した **4,588 t** とします。

(4) リサイクル率

国の第四次循環型社会形成推進基本計画では、令和 7 (2025) 年度に 28%、基本方針及び廃棄物処理施設整備計画では、令和 9 (2027) 年度でも 28% を目標として定めています。

県の計画では、更に令和 12 (2030) 年度に 29% としていますが、瑞穂市は令和 4 年度で民間回収量を含めてリサイクル率は 30% を超えている良好な状況です。

そのため、本計画の目標としては、この状態を維持することとします。

リサイクル率は、
民間の回収を含めた令和 4 年度実績 **30%** を、維持します。

3. ごみの発生量及び処理量の見込み

(1) 推計方法

将来ごみ量の予測は、人口将来推計及び過去 10 年間のごみ排出量の実績に基づいて、トレンド推計式により将来数値を推計する手法を用いました。この手法は、『ごみ処理施設構造指針解説』に示された方法で、図 4-2 にごみ量予測のフローを示します。

家庭から排出されるごみ（生活系ごみ）については、ごみの種類ごとに 1 人 1 日あたりのごみ排出量推計結果×人口推計の予測値×年間日数で算出し、事業系ごみについては、ごみの種類ごとに 1 日あたりごみ排出量推計結果×年間日数で算出しました。

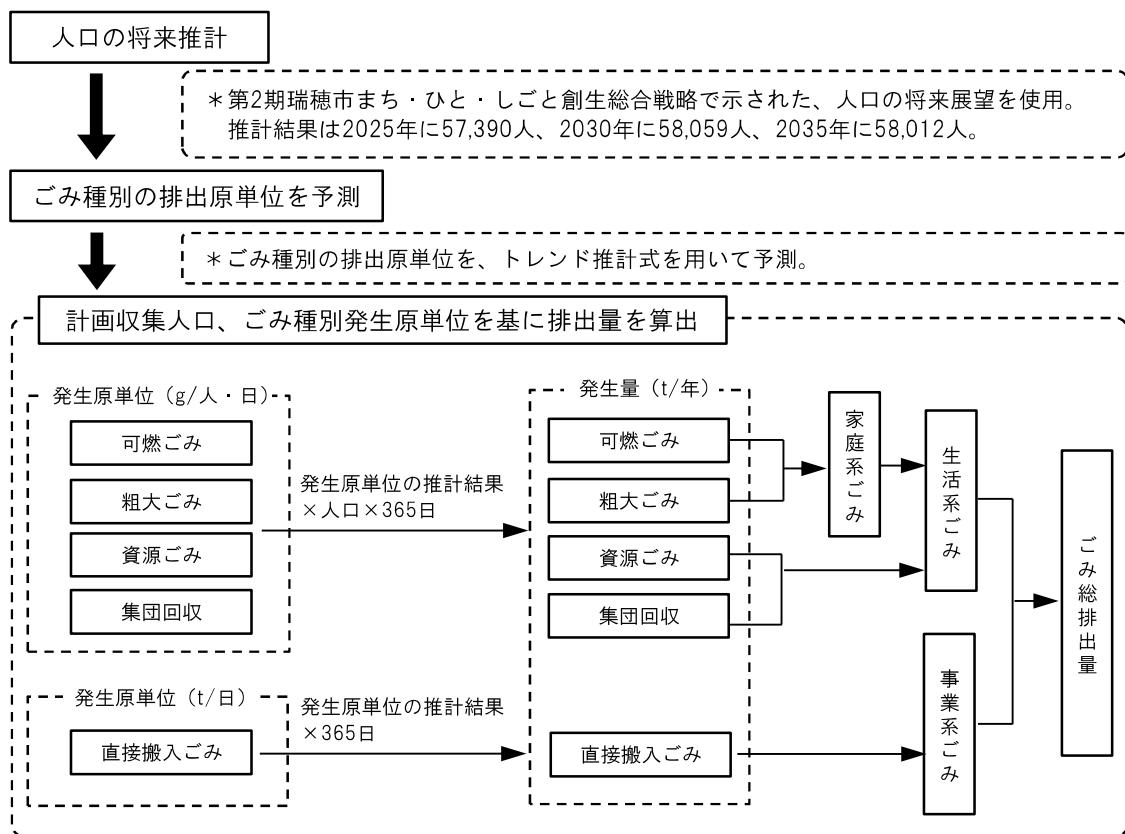


図 4-2 将来ごみ量の予測フロー

(2) 人口の将来推計

人口の将来推計は、「第2期瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(令和2(2020)年3月改定版)に示された人口の将来展望を採用しました。

なお、計画収集人口は行政区域内人口とし、自家処理人口はないものとしました。

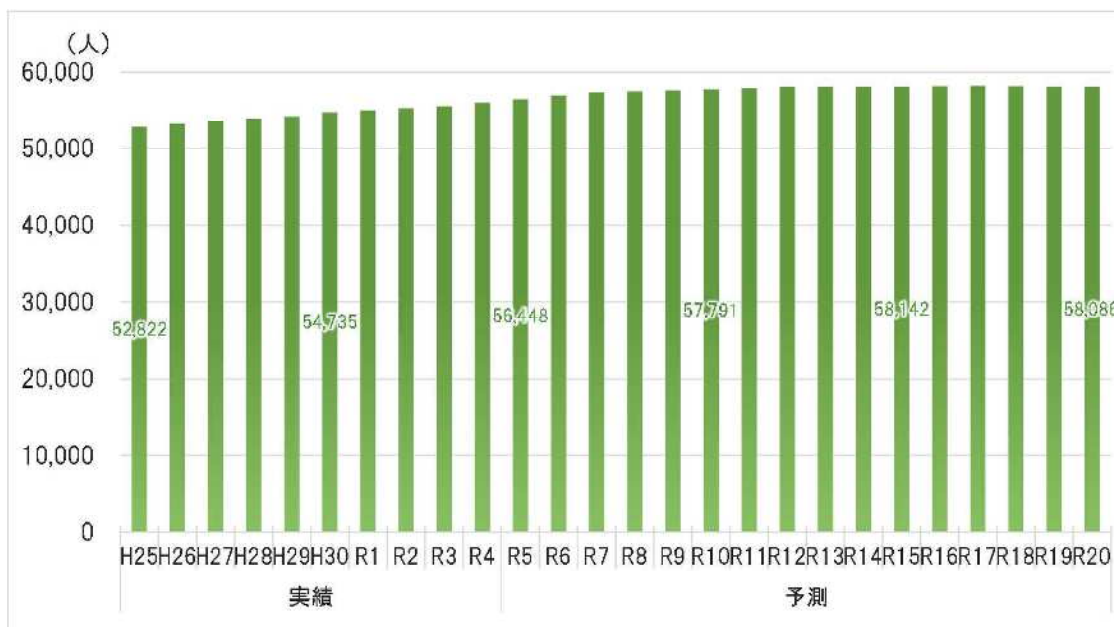


図 4-3 将来の人口推計結果

(3) ごみ排出量の将来予測

ごみ排出量の将来予測は、表 4-1 及び図 4-4～図 4-7 に示すとおりです。

表 4-1 ごみ排出量の将来予測

区分	単位	実績値		推計値						
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	中間目標年度		目標年度
		2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2033	2038
人口	人	55,977	56,448	56,919	57,390	57,524	57,658	57,791	58,142	58,086
ごみ発生量	t/年	16,996.05	17,229.08	17,193.93	17,220.67	17,186.82	17,183.08	17,084.40	16,767.92	16,378.50
ごみ総排出量	t/年	14,786.10	14,945.08	14,879.69	14,924.39	14,891.56	14,885.03	14,797.66	14,496.01	14,121.65
生活系ごみ排出量	t/年	8,861.20	8,997.99	8,955.67	9,008.49	8,994.89	9,003.94	8,963.63	8,834.13	8,641.76
収集ごみ	t/年	7,278.30	7,373.72	7,361.38	7,363.92	7,344.36	7,343.42	7,302.62	7,158.32	6,965.79
可燃ごみ	t/年	6,574.00	6,684.37	6,667.11	6,664.29	6,642.58	6,638.60	6,598.63	6,452.03	6,261.51
資源ごみ	t/年	704.30	689.35	694.27	699.63	701.78	704.82	703.99	706.29	704.28
びん	t/年	229.80	224.24	226.81	228.93	229.98	231.32	231.05	232.46	232.46
カン類	t/年	128.70	130.59	130.56	130.88	130.88	130.92	130.56	129.27	127.98
ペットボトル	t/年	188.50	174.58	175.57	177.03	177.76	178.61	178.49	179.58	179.22
プラスチック製容器包装	t/年	157.30	159.94	161.33	162.79	163.16	163.97	163.89	164.98	164.62
直接搬入ごみ	t/年	1,582.90	1,624.27	1,594.29	1,644.57	1,650.53	1,660.52	1,661.01	1,675.81	1,675.97
可燃ごみ	t/年	165.00	167.88	167.45	167.38	166.83	166.73	165.73	162.05	157.26
粗大ごみ	t/年	1,054.60	1,084.46	1,050.75	1,049.98	1,042.79	1,038.32	1,027.74	1,010.72	1,003.31
資源ごみ	t/年	344.40	352.90	356.74	407.86	421.20	435.72	447.84	482.97	495.31
古紙類	t/年	67.80	70.35	71.29	72.16	72.48	72.95	72.98	73.59	73.53
衣類	t/年	21.40	21.04	21.26	21.49	21.58	21.71	21.70	21.83	21.81
製品プラスチック	t/年	—	—	—	46.87	58.86	71.15	83.13	115.75	128.58
剪定木	t/年	210.10	214.84	216.81	219.37	220.10	221.43	221.56	223.02	222.65
中央エコセンター	t/年	45.10	46.67	47.38	47.97	48.18	48.48	48.47	48.78	48.74
ダンボール	t/年	26.00	27.61	28.12	28.53	28.67	28.86	28.86	29.05	29.03
新聞	t/年	3.20	3.20	3.24	3.28	3.29	3.32	3.32	3.35	3.35
雑誌	t/年	4.40	4.54	4.59	4.64	4.66	4.69	4.69	4.73	4.72
牛乳パック	t/年	0.30	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.34	0.34
古着	t/年	1.70	1.66	1.68	1.70	1.70	1.71	1.71	1.72	1.72
びん	t/年	8.00	7.80	7.89	7.96	8.00	8.04	8.03	8.08	8.08
缶	t/年	1.50	1.53	1.53	1.53	1.53	1.53	1.53	1.51	1.50
有害ごみ	t/年	18.90	19.03	19.35	19.35	19.71	19.76	19.71	20.08	20.08
事業系ごみ排出量	t/年	5,099.10	5,093.99	5,059.63	5,040.75	5,017.37	4,996.12	4,948.77	4,769.66	4,588.43
可燃ごみ	t/年	5,099.10	5,093.99	5,059.63	5,040.75	5,017.37	4,996.12	4,948.77	4,769.66	4,588.43
集団回収(資源回収)	t/年	825.80	853.10	864.39	875.15	879.30	884.96	885.26	892.22	891.46
民間の無人回収所などの古紙等の回収量	t/年	2,209.95	2,283.63	2,314.24	2,343.15	2,354.12	2,369.20	2,369.86	2,387.66	2,385.43
1人1日あたりごみ発生量	g/人・日	832	834	828	822	819	814	810	790	773
1人1日あたりごみ総排出量	g/人・日	724	723	716	712	709	705	702	683	666
1人1日家庭系ごみ排出量	g/人・日	382	385	380	377	375	373	370	360	351
焼却量	t/年	12,324.40	12,413.32	12,346.75	12,324.65	12,275.91	12,248.65	12,155.78	11,819.05	11,439.33
可燃ごみ	t/年	11,838.10	11,946.24	11,894.19	11,872.42	11,826.78	11,801.45	11,713.13	11,383.73	11,007.20
粗大ごみ焼却量	t/年	486.30	467.08	452.56	452.23	449.13	447.20	442.65	435.32	432.13
資源化量	t/年	2,964.47	2,977.10	2,983.21	3,048.92	3,063.84	3,084.14	3,086.97	3,106.70	3,091.68
資源ごみ	t/年	1,048.70	1,042.25	1,051.01	1,107.49	1,122.98	1,140.54	1,151.83	1,189.26	1,199.59
集団回収	t/年	825.80	853.10	864.39	875.15	879.30	884.96	885.26	892.22	891.46
粗大ごみ資源化量	t/年	279.60	268.62	260.27	260.08	258.30	257.19	254.57	250.35	248.52
粗大ごみ委託処理量	t/年	66.80	64.20	62.20	62.16	61.73	61.47	60.84	59.83	59.40
有害ごみ	t/年	18.90	19.03	19.35	19.35	19.71	19.76	19.71	20.08	20.08
焼却処理に伴う資源化量	t/年	724.67	729.90	725.99	724.69	721.82	720.22	714.76	694.96	672.63
リサイクル率	%	20.1	19.9	20.1	20.4	20.6	20.7	20.9	21.4	21.9
民間回収を含む資源化量	t/年	5,174.42	5,260.73	5,297.45	5,392.07	5,417.96	5,453.34	5,456.83	5,494.36	5,477.11
民間回収量	t/年	2,209.95	2,283.63	2,314.24	2,343.15	2,354.12	2,369.20	2,369.86	2,387.66	2,385.43
リサイクル率(民間回収含む)	%	30.4	30.5	30.8	31.3	31.5	31.7	31.9	32.8	33.4
最終処分量	t/年	517.85	517.68	512.86	512.02	509.78	508.49	504.44	491.30	477.34
焼却処理に伴う最終処分量	t/年	435.05	438.19	435.84	435.06	433.34	432.38	429.10	417.21	403.81
粗大ごみ最終処分量	t/年	82.80	79.49	77.02	76.96	76.44	76.11	75.34	74.09	73.53
最終処分率	%	3.5	3.5	3.5	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4

① ごみ総排出量の将来予測

1人1日あたりごみ総排出量、1人1日家庭系ごみ排出量の将来予測は、図4-4に示すとおりです。

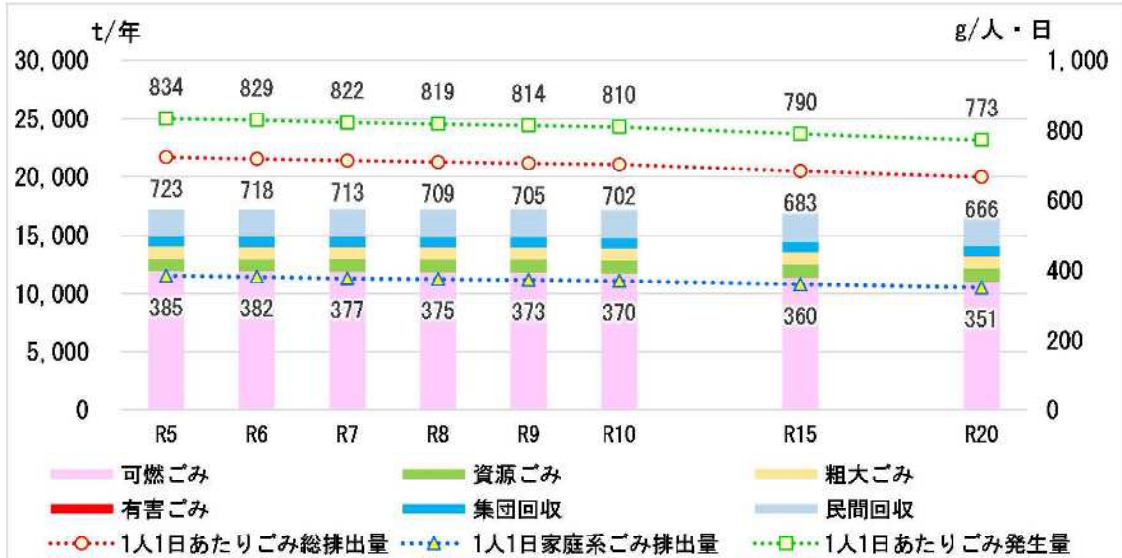


図 4-4 ごみ総排出量の将来予測

② 事業系ごみの将来予測

事業系ごみ排出量及び事業系ごみの割合の将来予測は、図4-5に示すとおりです。

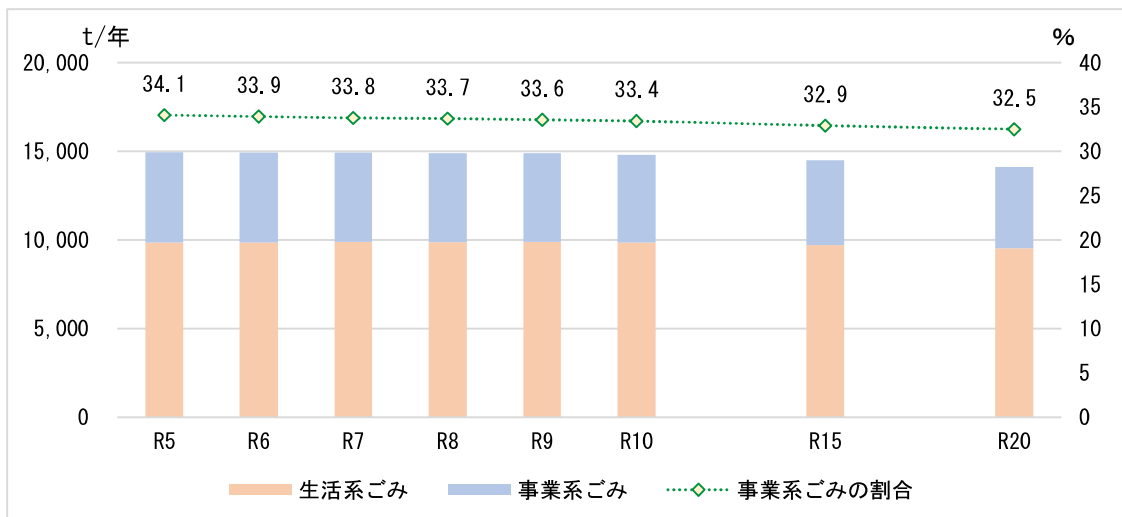


図 4-5 事業系ごみ排出量の将来予測

③ リサイクル率の将来予測

資源化量及びリサイクル率の将来予測は、図 4-6 に示すとおりです。

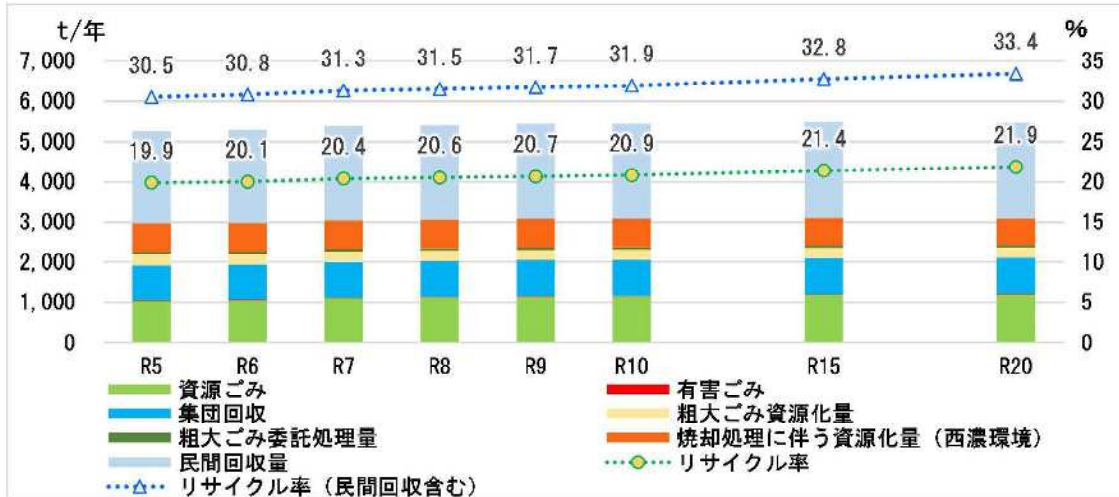


図 4-6 リサイクル率の将来予測

④ 最終処分量の将来予測

最終処分量の将来予測は、図 4-7 に示すとおりです。

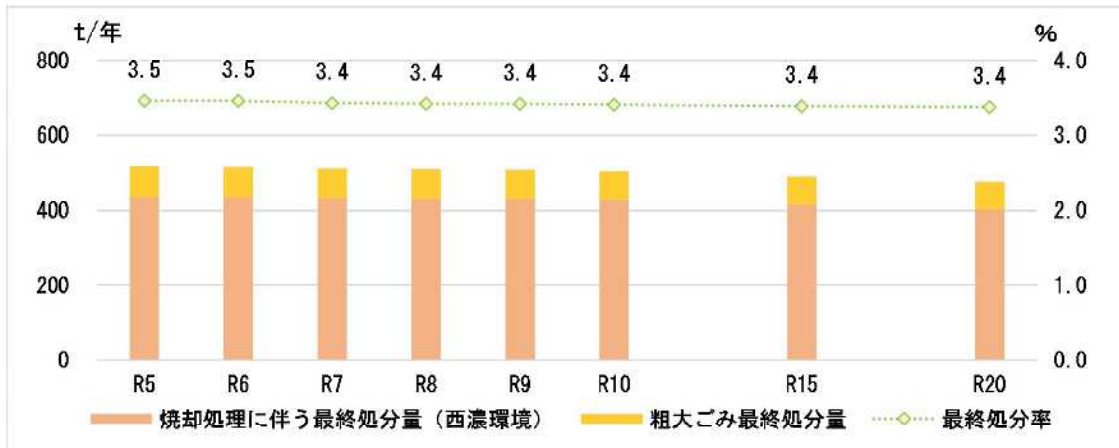


図 4-7 最終処分量の将来予測

4. 目標達成のための施策

(1) 具体的な施策

「発生抑制のための取組」、「資源化のための取組」、「適正処理のための取組」を3つの基本施策とし、18の具体的な施策を進めていきます。

具体的な施策とその内容は、表4-2に示すとおりです。

表4-2-1 施策一覧

項目	施策案		具体的な内容
発生抑制のための取組	1	小・中学生にごみに関する学習機会の提供	学校との連携により、職員による出前講座の開催など、小・中学生がごみについて学ぶ機会を提供します。
	2	家庭での生ごみの減量化などの推進	生ごみ処理容器購入補助金制度の継続の他、生ごみの水切り等の啓発を実施することで、家庭から出る生ごみの減量化を推進していきます。
	3	【新規】 食品ロス削減の啓発	チラシの配布などを通して、食品ロス削減の啓発を行います。
	4	フリーマーケット等を通じたごみにしない取組の推進	フリーマーケットや不用品交換会・譲渡会の開催支援など、ごみにしない再使用の取組を進めます。
	5	ごみ分別の手引きやホームページで分別方法等、わかりやすい情報の提供	ごみ分別の手引きやホームページについて、市民が見て分かりやすい絵や早見表への改訂の他、ごみ出しについて注意すべき情報等を提供します。
	6	廃棄物減量等推進員と連携した啓発	廃棄物減量等推進員と連携し、出前講座などにより市民に対する啓発を行います。
	7	【新規】 脱炭素のための取組の啓発	サステイナブルファッション ^{※7} やシェアリング・エコノミー ^{※8} 等、ごみの削減による脱炭素の取組について啓発を行います。

※7 ファッション業界は、環境負荷が大きく、大量生産・大量消費の業界の中で、衣服1着をつくるのに排出されるCO₂は約25kg、排水は2,300Lが排出されます。

持続可能(サステイナブル)なファッション業界を実現するためには、政府や企業だけでなく、消費者も、「服を長く大切に着る」、「リユース(再使用)ファッションを楽しむ」、「環境に優しい作られ方がチェック」、「服を資源として再活用する」などの身近なアクションを意識することが求められています。

※8 シェアリングエコノミーは、個人等が所有する活用可能な資産等(スキルや時間等も含む)を、インターネット上のマッチングプラットフォームを介して他の個人等も利用可能とする経済活性化活動のこと。

例えば、フリマアプリにより「物」のシェアサービスを活用することにより、ごみの発生量が減少し、ごみ処理時のCO₂排出量も減少する。